

タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成27年9月11日（金）午後7時～8時30分

会 場 鶴ヶ岡分館（鶴ヶ岡二丁目町会）

参加者 26人



主な意見等

参加者 街路樹について、サンデーからしまむらのところに街路樹がありますが、間隔が狭く本数が多いです。おそらくこれから剪定をすると思いますが、費用がかかります。本数を半分ぐらいに減らせばいいのではないのでしょうか。また、この場所は鶴ヶ丘小学校の通学路にもなっていますが歩道が根で持ち上がって歩きにくいです。

市 長 おっしゃるとおり本来の間隔より狭く、根が張って歩きづらいです。樹木の診断等もしながら寿命のものは伐採していますが、将来的なことを考えると間引きしていくことは有効な方策だと思います。今後、持続可能なまちにしていくために皆さまと話をしながら進めていきたいと思っています。

参加者 3点質問があります。まず、西口から川越街道に向かう道路に自転車専用道路が一部あります。これについてのふじみ野市の考え方を知りたいです。次に、オレオレ詐欺、なり済まし詐欺の現状と対策です。最後に公共施設の利用度についてです。

市 長 道路につきましては、最小限の経費で維持を続けているというのが今の状況です。マクドナルドから西側は水はけが悪くゲリラ豪雨の時には池になってしまいます。この部分につきましては、対策と

して今秋から工事を予定しています。道路交通法の改正で自転車の歩道通行が規制されましたが、狭い道路が多いまちなので車道を守るのも危ないです。何とか少しでも安全対策を図っていきたいと思っています。交通安全教育についてはそれぞれの学校で行っています。平成26年度にはスケアードストレートというスタントマンの方にご協力いただいた取り組みを実施し、子どもたちに危険性を指導しています。

オレオレ詐欺につきましては、なるべく留守電を使ってくださいという呼びかけを行っています。通話を録音していますという音声を入れてもらうなどの取り組みもしています。また、警察署の署員が高齢者に向けて寸劇をやったりもしています。全体の事案が減らないのが現状ですが、警察等と協力し詐欺を防ぐような手立てを構築していければと考えています。

公共施設の利用度につきましては、施設によって違います。ホールは稼働率が悪いです。公共施設の適正配置を考えたときに、合併したことから公共施設の統廃合を進めるのが効果的ですが、二つの物を一つに統合するのはなかなか難しいものがあります。現在、公共交通の見直しを始めており、東武バスなどの民間事業者にも参加していただき法定協議会を立ち上げています。現在の循環バスは定時定路線ですが、例えば、これと並行して小型のデマンド交通を走らせるといった形で実証運転に向けて協議を進めています。それによって移動手段の確保ができれば施設の統廃合にもつながります。

参加者 スポーツをやっていますが、一カ所でできるような大きな体育館をつくる予定はありますか。高齢者も大変スポーツに興味を持っています。また、パソコン等で予約もできるようになりましたが満員で取れない状況です。

市 長 総合体育館をつくる予定はありません。今は既存の体育館を維持していくことで精一杯です。そこで今、福岡高校の跡地を何とか活用できないかということで県と話を進めています。福岡高校の体育館は大きいので、ぜひ市で使いたいと思っています。スポーツの推進については限られた予算の中でも精一杯やっ行ってこうと考えています。

参加者 駒林体育館のクーラーが故障しています。これでは健康に良くないので、そういった修理の部分は優先してほしいと思います。

市長 分かりました。検討したいと思います。

参加者 コンサートや演劇をふじみ野で見るチャンスがないと思います。もうちょっと活動を盛んにするような市としての施策が望ましいのではないのでしょうか。

市長 市議会に文化・スポーツ振興条例を議案として出しています。スポーツが体の健康であるなら文化は心の健康です。双方を推進するために、さまざまな方法を考えていきたいと思っています。

参加者 先日、フルートの演奏会に行きました。すごく良かったです。必ずしも大きいホールを作る必要があるわけではなく、市の特色を出して行ってほしいと思います。

市長 おっしゃるとおりです。活動の中身を充実させていきたいと思っています。

参加者 公共施設の利用度に関してですが、予約システムも便利になりましたが、満杯で今まで使っていた人が使えないという問題があります。施設が予約できないと、活動の計画が立てられません。予約システムを少し考えていただきたいです。

市長 システムは基本的には悪くないと思いますが、予備日も予約してしまっている方々がいて、予約の取り方に問題があります。改善していかなければいけないと思います。施設を使わない場合にキャンセルが遅いという問題があるのも実態です。

参加者 ごみの焼却に関しまして、農家からは大量のごみが出ます。今は焼却することができず、ごみの処理が農家にとって大きな負担となっていると思います。他の地域では月二回は焼却を認めるなどの特

例があります。そのようなものはないのでしょうか。

また、上福岡駅のところの踏切について、昔から陸橋か地下道の設置が話題になっています。予算がなくて白紙状態という話もあります。この見通しについて教えていただければと思います。

市長　　ごみの焼却につきましては、今のご意見も含め、農家の方々の意見を聞きながら進めていきたいと思えます。

踏切につきましては、合併以前に地下道を作る計画があり、一部分を先行買収していたところもありました。しかしながら60億円程度の総事業費がかかるといった財政面などの様々な課題がある中、合併後に国からの事業認可も時間切れになってしまいました。今後、地下道の整備は今の財政状況の中では考えられない状況です。

参加者　　70歳以上を対象にした15回シリーズの筋トレがありました。参加しましたがすごく良かったです。1シリーズで終わらないでもっとやってほしいとお願いしましたが、今はどうなっているのでしょうか。機会があればぜひまた参加したいです。

市長　　なるべくそういう事業を増やしていこうと思っています。筋トレにつきましては確認します。

参加者　　おおい祭りの時に、始まる前から熱中症になった人がいて救急車が来ていました。また、片付けの時にもこのような状況がありました。いずれも搬送の対象者は市の職員でした。高齢者のことを考えるのはありがたいですが、職員の方の健康も考えていただきたいと思えます。健康管理ができていないのかなと思えます。

市長　　元気・健康都市宣言を行った市として、その職員は自己管理を徹底しなければならないのは言うまでもありません。市役所では8時20分から朝のラジオ体操をやっていて、私たちも健康づくりに努めていこうとしています。職員に対しての指導もしていきたいと思えます。

参加者 大規模災害における本地域の問題点を教えていただきたいです。
また、市長さんからのお願いはありますか。

市長 こちらの地域に限ってというわけではなく、どこの地域でも申し上げていますが、災害時はまず自助があり、その次に共助、それから公助の順です。各地域でもその地域の特性を考えた訓練をするのが良いと思います。また、参加者を増やし災害に対する意識を醸成していきたいと思います。「まさか」は必ず起きる、そういった意識を一人でも多くの方に持っていただくことが大事です。また、近所の付き合いが薄れてきていますが、どこの地域においても皆で地域を守っていくという思いが重要だと思います。